

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年2月21日

計画の名称		82 磐田新駅周辺における交通結節点の機能向上と南北交流の創出								
計画の期間		平成27年度（1年間）		交付対象		磐田市				
計画の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田新駅周辺における交通結節点の機能を強化するため、磐田新駅南北連絡線の街路整備事業を実施し、新駅北口側の市街地と南口側の市街地の健全な交流の創出を図る。 								
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田新駅の1日の乗車客数を増加させる。 ・ 磐田新駅南側に位置する交流の拠点となる施設と磐田新駅北側に位置する交通の分岐となる交差点までの歩行時間を短縮する。 ・ 歩道のない現在の跨線橋を使用する歩行者を減少させる。 								
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値		備考			
		当初現況値 (H27当初)		中間目標値 (H29末)		最終目標値 (H31末)				
南北間の歩行時間の短縮 医王寺入口から（都）磐田袋井線・（都）三ヶ野新貝2号線の交差点までの歩行時間を算出する。		12分		-		10分				
歩道のない跨線橋の歩行者数の減少 坊中橋を渡る歩行者数を計測する。		80人		-		40人				
全体事業費	合計 (A+B+C)	34 百万円	A	34 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	交付期間終了後 平成28年度、平成29年度
磐田市都市施設整備事業評価委員会に諮り実施	公表の方法	市のホームページへ掲載

1 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期を記入） -：その他（備考欄に記入））																			
交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
												H27	H28	H29	H30	H31			
82-A1	街路	一般	磐田市	直接		S街路	改築	0.55	(都)磐田新駅南北連絡線	自由通路 130 m	磐田市						34	△	H32
合計												34							
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
											H27	H28	H29	H30	H31				
合計												0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
											H27	H28	H29	H30	H31				
合計												0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			

その他関連する事業																		
計画等の名称 82 磐田新駅周辺における交通結節点の機能向上と南北交流の創出（防災・安全）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32			
A1-1	街路	一般	磐田市	直接	磐田市	S街路	改築	（都）磐田新駅南北連絡線	自由通路 130 m	磐田市						1,557	-	旧82（社交）から移行
小計																1,557		
計画等の名称 67 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30			
67-A6	街路	一般	静岡県	間接	新井区	区画	改築	新井地区（（都）三ヶ野鎌田線 外4路線）	区画整理 A=40.4ha	磐田市						524	-	
67-A7	街路	一般	静岡県	間接	鎌田第一地区	区画	改築	鎌田第一地区（（都）三ヶ野鎌田線 外1路線）	区画整理 A=25.2ha	磐田市						1,757	-	
67-C2	改修	一般	磐田市	直接			調査・工事	倉西川河川改修	河川改修 L=80m	磐田市						342	-	
小計																2,623		
計画等の名称 東海道本線袋井・磐田間新駅を核としたまちづくり																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別事業 及び 施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33				
A1	都市再生	一般	磐田市	直接	磐田市	-	都市再生整備計画事業（磐田新駅周辺地区）	公園、高賞空間、地域生活、提案事業	磐田市							1,032	-	
小計																1,032		

2 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> 要素事業である（都）磐田新駅南北連絡線（自由通路）の供用が平成31年度末予定であることから、効果の発現は見られなかったが、工事着手に向けた実施設計が完了し、整備促進に寄与した。 									
II 定量的指標の達成状況	指標① 南北間の歩行時間の短縮	当初現況値	12分	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> （都）磐田新駅南北連絡線（自由通路）が供用されていないことから、目標の達成に至らなかった。 磐田市新井土地区画整理事業及び磐田市鎌田第一土地区画整理事業の進展により、区画道路が整備され、歩行しやすくなっているが、歩行時間の短縮には至っていない。 							
		最終目標値	10分									
		H28実績値	12分									
		H29実績値	12分									
	指標② 歩道のない跨線橋の歩行者数の減少	当初現況値	80人	目標値と実績値に差が出た要因								
		最終目標値	40人									
H28実績値		82人										
H29実績値		99人	<ul style="list-style-type: none"> （都）磐田新駅南北連絡線（自由通路）が供用されていないことから、目標の達成に至らなかった。 平成31年度末が（都）磐田新駅南北連絡線（自由通路）の供用予定であることから、平成32年度に再度調査することとする。 現跨線橋の歩行者数は、昼は減少しているものの、企業の通勤時間帯である朝や夕は増加傾向にあるため、企業の通勤ルート変更も増加要因と考えられる。 									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）			<ul style="list-style-type: none"> （都）磐田新駅南北連絡線（自由通路）の整備、（仮）磐田新駅新設及び周辺整備を計画的に推進するため、実施設計の結果を踏まえた関係機関協議が並行して進められたことにより、平成31年度末の新駅開業等に向け平成28年度に起工式を行うことができ、工事に着手することができた。 									

3 特記事項（今後の方針）												
<ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金から防災・安全交付金の重点計画へと移行することにより、バリアフリーに対応した歩行者専用道路の整備促進を図り、安心・安全なまちづくりの推進を図る。 												

社会資本総合整備計画 参考図面

